

富士環境セミナーハウス

3年次研修



■ CONCEPT

・工業団地の端にある敷地の意味

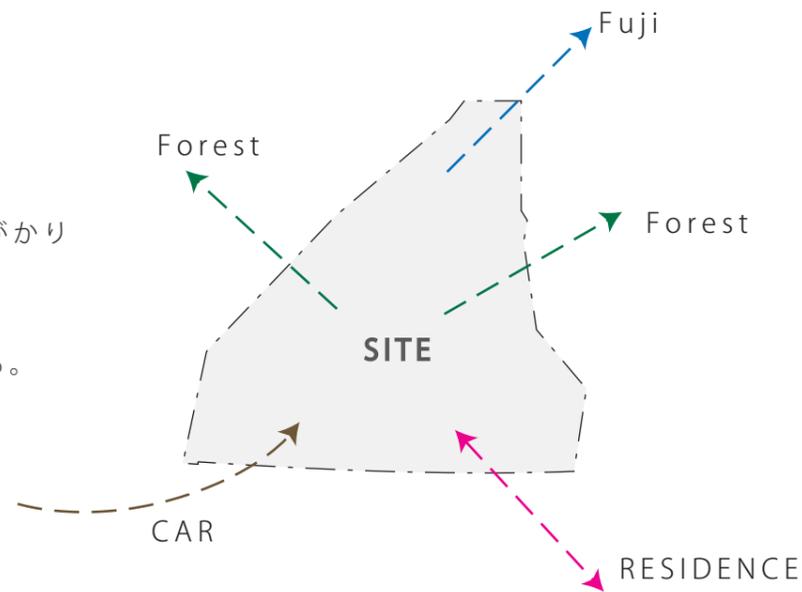
敷地は工業団地の北西部に位置しており、開発全体の端部にあたる。
また県道に面しているので工業団地のエントランス部としての意味を持つことになる。



・敷地をとりまく4つの軸線

- この敷地は、
1. 富士山への眺望
 2. 周辺を取り巻く森林
 3. 県道を走る自動車からの見えがかり
 4. 団地とのかかわり

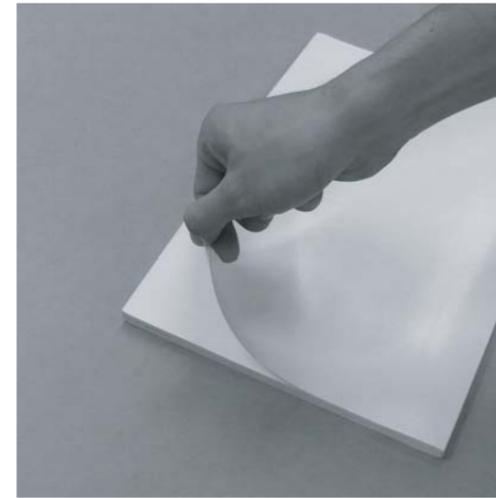
という4つの方向性を持っている。



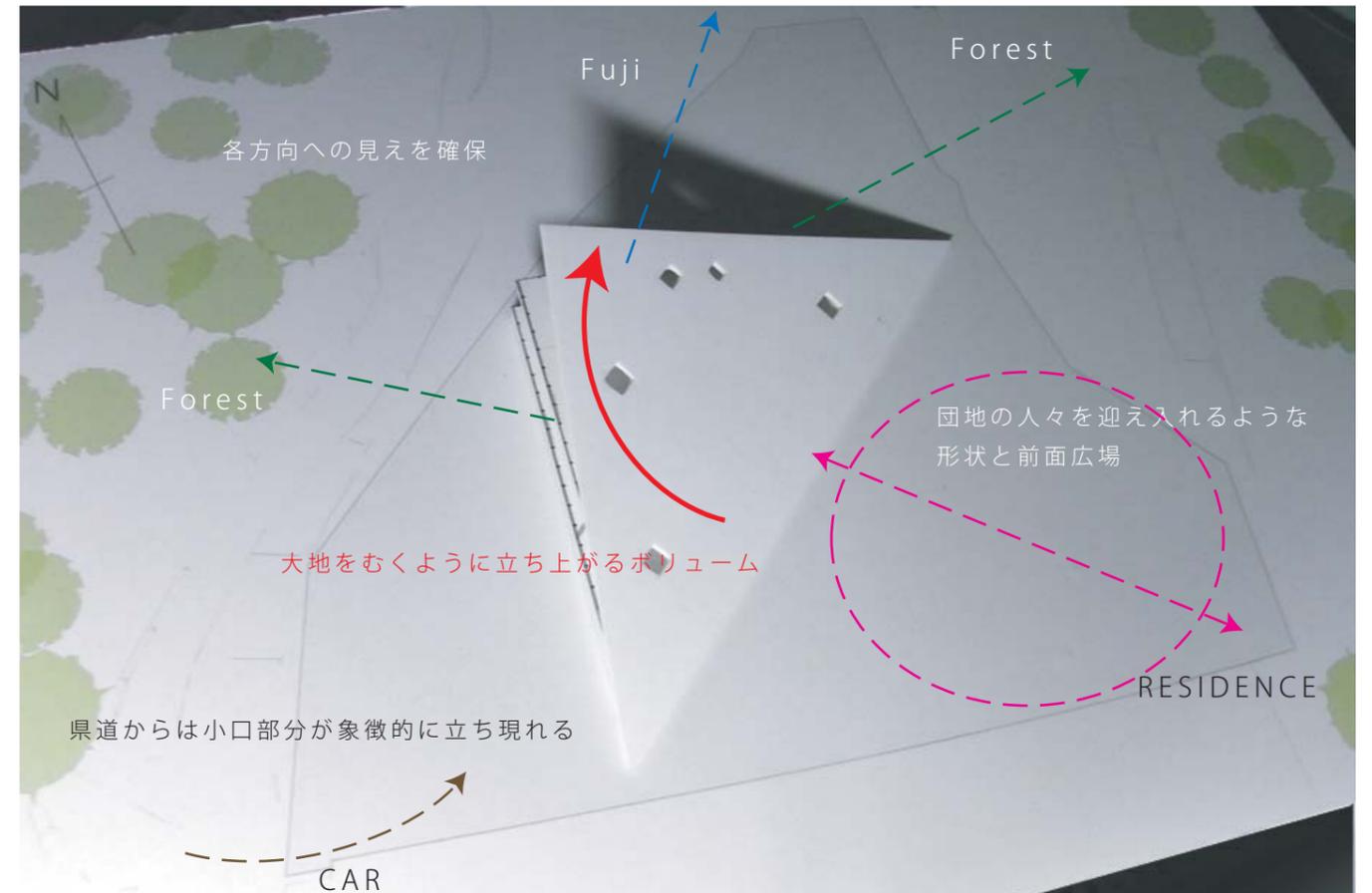
・環境・緑との関わり

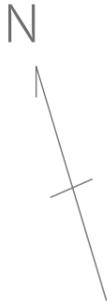
環境活動を行う NPO 団体のための施設、つまりこの周辺の環境が活かされ、今までよりも多彩な関わり方ができるような施設であるべきではないか。

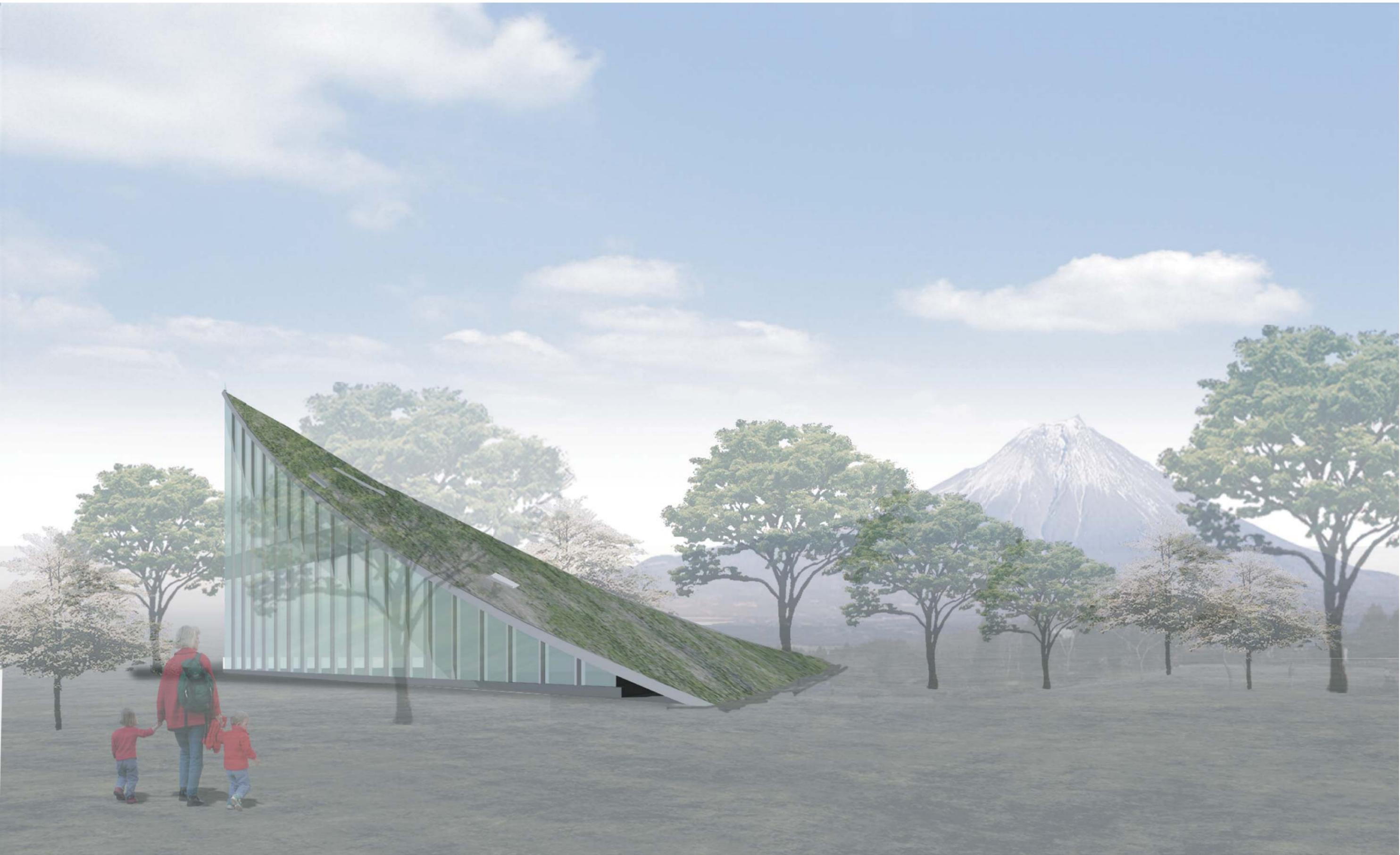
■ 大地をむく建築

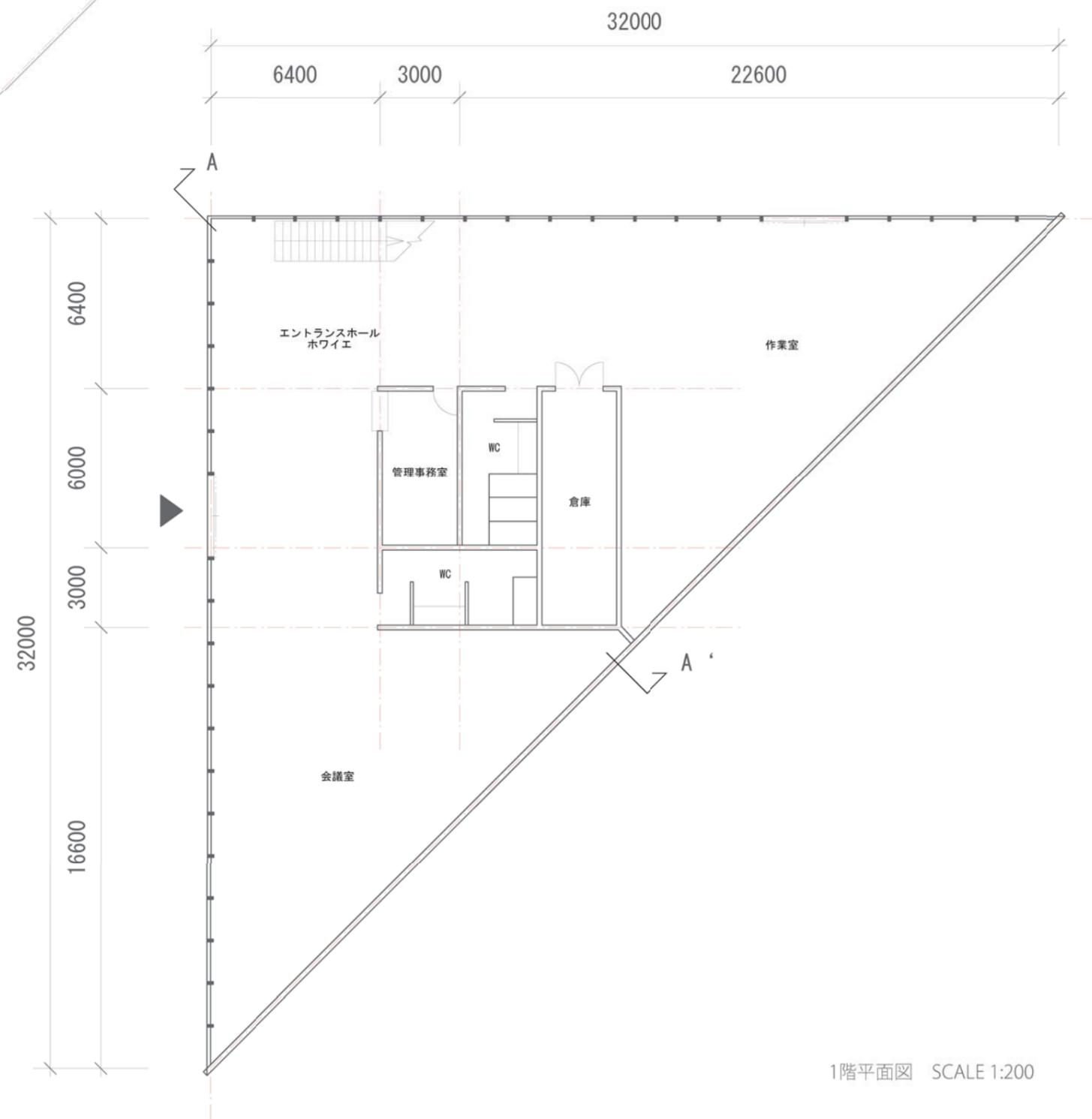
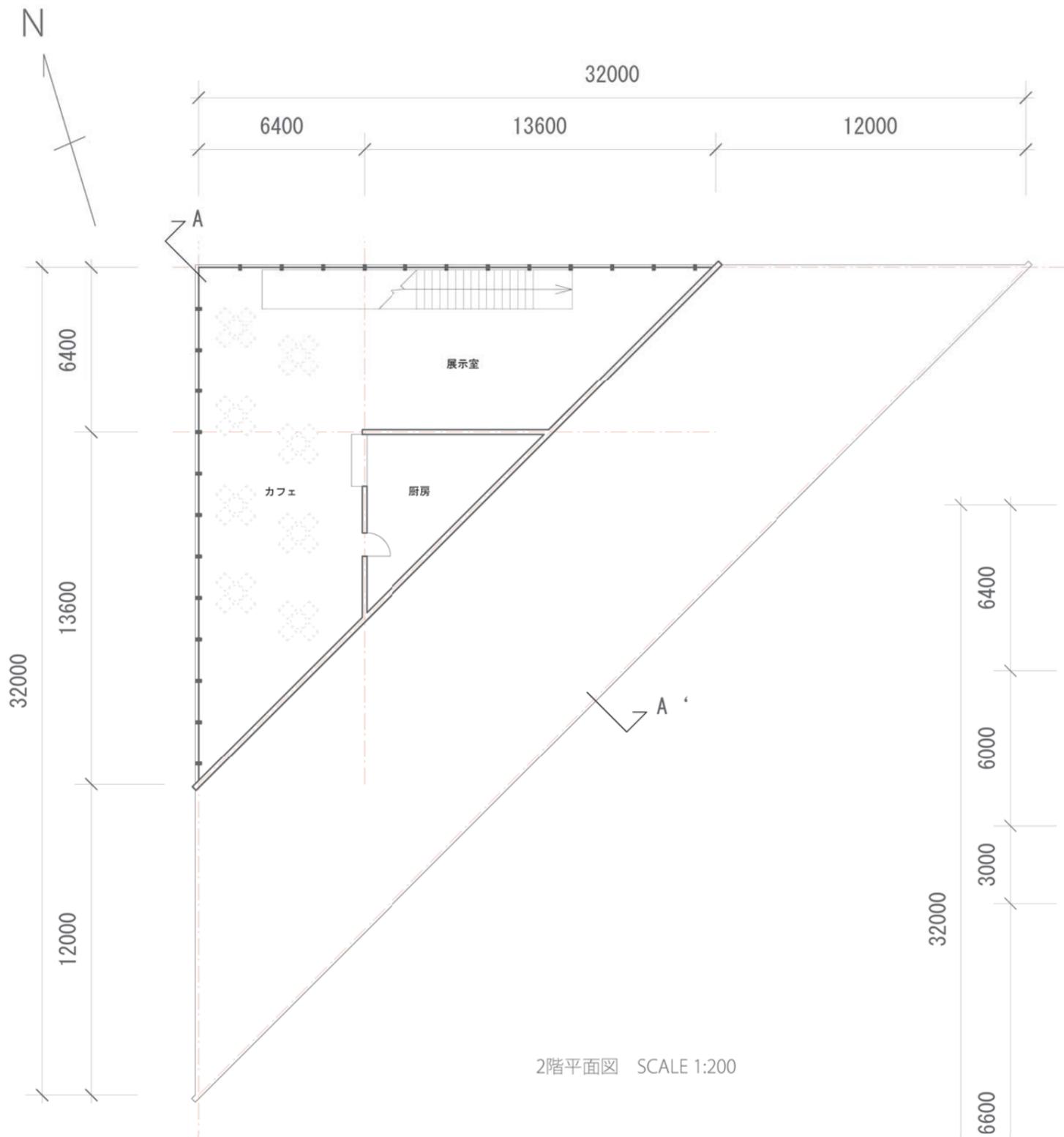


いくつかの諸条件をシンプルな形で解決したい。
そこで果物の皮をむく、あるいは本をめくるように大地をめくるような造形を考えた。
各方向への眺望を確保し、敷地が全体の中で端に位置することにも対応する。
めくれあがった大地部分は建築のファサードとしてこの建築を特徴づけ、そこに穿たれた開口から自然環境が室内にも取り込めるようなものがよいのではと計画した。
2層にわたる建物から近接する木々のレベルの違いによる新たな発見もあるのではないだろうか。











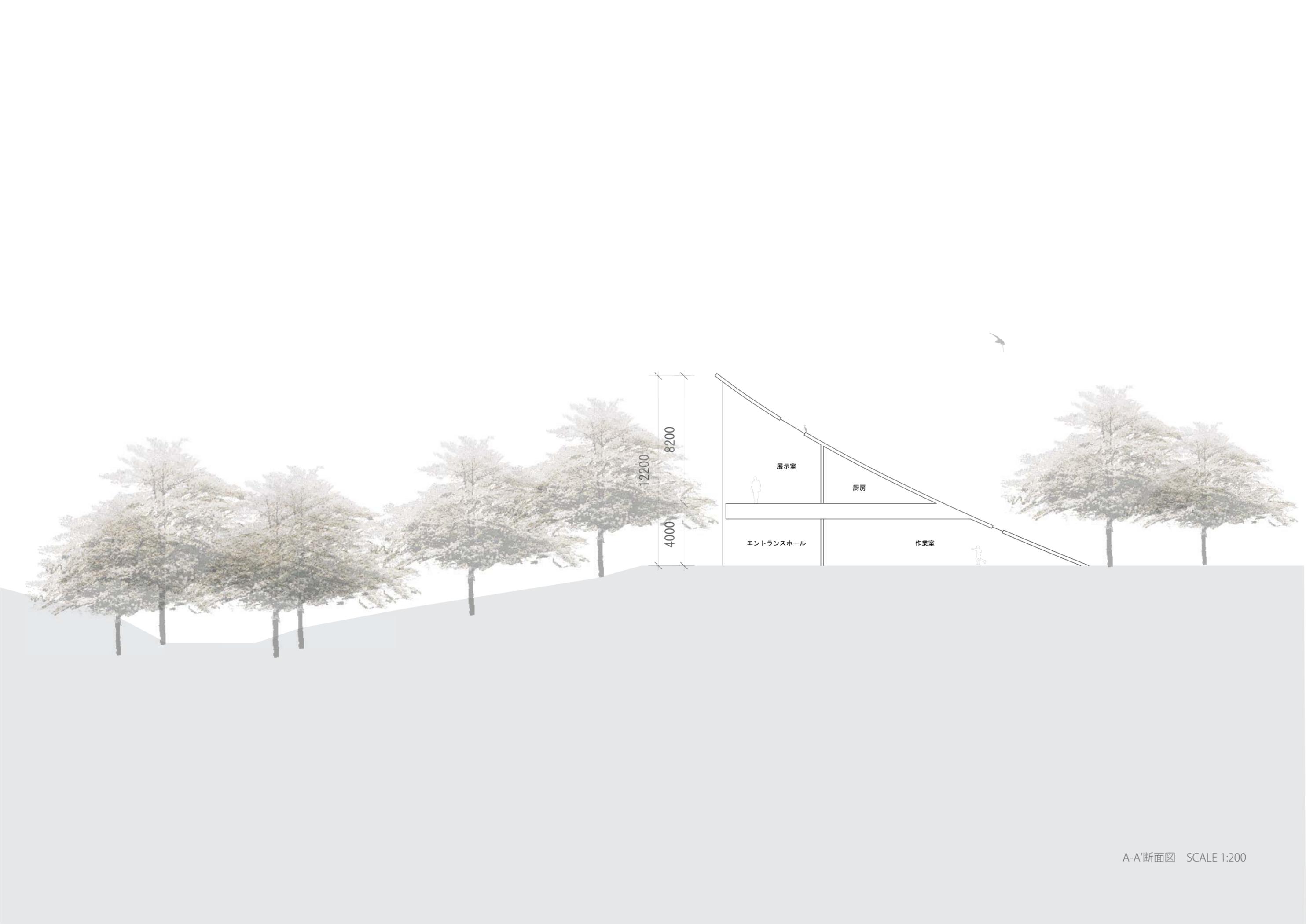
1階会議室



2階展示室



東面立面図 SCALE 1:200



A-A'断面図 SCALE 1:200